

第17回みんなのタウンミーティング会議報告

- 1 開催日時 令和6年5月18日（土） 午前10時30分～12時00分
- 2 開催場所 市民会館・萌え木ホール
- 3 参加者 市長及び市民16名
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 市長あいさつ（市政報告）
 - (3) 懇談（フリーテーマ）
 - (4) 閉会

5 懇談内容要旨

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
1	地震発生時の避難について	<p>「津波でんでんこ」というのは、皆さん御存じだと思いますが、今日言いたいのは「地震でんでんこ」というのを検討してはどうかということです。東日本大震災のときに、帰宅困難というのがありました。ところが、帰宅困難以上に、「登庁できない」という事態が起こる可能性の方が遥かに高いです。その時にどうするかと言ったら、職員は自分が住んでいる場所で、災害支援者として勤務してはどうかという考え方です。大切なのは「でんでんこ」ということで、職員は、市長が発令したかどうかに関係なく、自主的に判断して、支援に取り組んでほしいと。できれば、それも勤務時間として考えてあげてほしいと。そうすれば、他の市区町村や他県から通勤に来ている方にとっては、登庁困難時の現場対応というのは、極力軽減できるだろうと思います。</p> <p>これは、周辺市区町村とのギブ・アンド・テイクの相互共助という考え方が前提です。国が統括して取り組むことは、すぐには期待できないから、まず、小金井市から取り組んでいったらどうかと思います。そして、地域防災計画とか、講演会とか、防災訓練の中で、繰り返しそういう制度でやりますよということを市民に広く周知しておいてほしいと思います。そうでないと、実際に現場に行っただけに、「こいつら何だ」と混乱が生じますので。</p>	<p>「大地震が起こったときに、自分の住んでいる町で被災地支援に当たる」という仕組みにできないかという発想の転換を含めて、仕組みの構築という御提案だと思います。おっしゃるように、今、職員は、市内在住比率は3割を切りましたので、実際に平日昼間時間の勤務時間帯以外で発生したときには、参集が困難になることも想定されますので、こういう考え方は一つ参考にはしたいなど。</p> <p>ただ、これは小金井市だけと言うよりは、東京都全体でどうするかというお話かなと思います。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
2	言葉の使い方について	<p>私は10年ぐらい前に議会で傍聴していましたが、あの頃は非常に質疑応答が簡潔だった。だけど今は、横文字やアルファベット、数字、政治用語、議会用語の羅列ばかりです。市のほうでは盛んに議会を傍聴しに来てくださるんですけど、これは傍聴を拒否しているんじゃないですか。あと、市長は質問しているのに、「意見として承ります」、とか「今、検討中です」という答えて、もう全然分からないです。</p>	<p>市議会の傍聴については、議会事務局の方に御意見を出していただいた方が良いかなと思います。市議会で運営しておりますので。 「検討します」という言葉を使うことについてですが、前回もおそらく、このやり取りはしていますので繰り返しになりますが、やはり市長という立場になると、中途半端なことは言えないんです。「それ、いいですね」と言ったら、「いいですね」を捉えて拡大解釈して、違うように捉えている方も中にはいらっしゃいます。 言葉遣いは私も気をつけたいと思いますし、分かりやすい答弁をしたいと思います。御意見として、しっかりと反映できるように頑張ります。</p>
3	連雀通りの道幅について	<p>1年半ぐらい前に世田谷区から小金井市に引っ越してまいりました。小学生の息子がおりまして、生まれつき進行性の難病があります。自分で歩けないので車椅子を使っていて、知的発達障害もあります。福祉が充実していると言われる世田谷区から出るということは、すごく不安があったんですけども、小金井市に来てみると、そこにある資源の中で、どうにかしようとしてくれる人たちがいて、すごく支えになりました。決して財政や制度が整っているとか、それだけではないんだなと実感をしているところです。</p> <p>市長さんには、福祉的な環境整備として、歩道の整備をお願いしたいです。都心と比べると、歩道は非常に広くて、車椅子でも、人がすれ違えるぐらい、余裕がある所が多いんですけども、車通りの多い連雀通りの歩道の狭さが気になっています。息子が使っている車椅子はとても小さいものになるんですが、乗せられるかなと、試しに通ってみたことがありました。中町のところから、小田急バスの営業所のところまで行ってみたんですけども、やはり一番小さい車椅子でさえ、途中でポールがあったり、人とすれ違えなかったりで、車道に下りなくてはならないということが何度もありました。</p> <p>たくさん住宅がある中で、難しいこととは思いますが、病院も結構ありますし、高齢の方もこれからどんどん増えてくると思うので、せめて大人用の車椅子が1台、きちっと通れるぐらいのスペースがあると、本当は安心かなというふうに感じました。</p>	<p>連雀通りの整備については、我々も課題として捉えております。特に連雀通りは、もう長年、狭さがどうにかできないかということで、拡幅が検討されたことも過去にはありました。ただ、あそこは都道で、結果的に都市計画道路そのものが走っていませんので、なかなか難しいだろうということです。できるところだけでも拡幅をするという、東京都の事業の関係という部分もあります。</p> <p>今、東小金井の栗山公園からずっと下がってきた東大通りのところが丁字路になっていますけども、あそこの周辺を拡幅できるように、ずっとやってきたところです。部分部分ではありますけども、拡幅できる場所は拡幅するというのを今、取り組んではおりますが、連雀通りを全部を拡幅するというのは、なかなか難しい状況ではあります。ただ、そういう御意見をいただいたということは、担当課の方にも伝えておきます。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
4	ユニバーサルベッドについて	<p>トイレに、大人がきちんと横になれるユニバーサルベッドの設置を、ぜひお願いしたいです。多目的といわれつつ、赤ちゃん用のベッドしかないというところが、都心の方でもまだ多いです。武蔵小金井のイトーヨーカドーには、全フロアは見えていないですが、ユニバーサルベッドが設置されています。それが何で良いかという、外出しやすくなるんです。私たち動ける人たちは色んなところに行って、トイレをしたくなったら、どこかにあるだろうと思って、安心というか、それが当たり前と思って出かけます。でも、障がいのある息子は、大きくなってきてベビーベッドに乗せられないんです。小さい頃は公園で敷物を敷いて、おむつを替えちゃえば良かったんですけど、小学校になってくると本人の人権もありますし、それはちょっと控えているんです。今はトイレがなかなかないということで、車移動が多くなりました。行った先の公園でトイレがないから、もう漏れちゃった、もうちょっと遊びたがっているけど、帰ろうか、とか。着いた先で、おむつばんばんでどうしよう、もう帰らなきゃ、とか。結局、遊べないで帰るということが随分増えたなと感じています。</p> <p>それは、体が不自由な子どもに限らず、けがをしたり、事故に遭った子どもや大人、あとは、高齢の方でも、おむつが必要な方とか、お散歩に出る方も多と思います。今、桜もたくさんある、本当にすてきな小金井市の環境があります。ぜひみんながいつまでも外に出れる環境があると、本当に良いんじゃないかなと思っています。トイレの有無で、外出のしやすさが随分変わってくると思うんですね。</p> <p>今、インクルーシブという言葉がとても流行っていて、要は、包括的な社会ということです。環境整備という、道路や建物の整備には限度があって、それが整備されたからといって、じゃあ、外に出るようになるのかといたら、それだけではないです。やっぱり人とのコミュニケーションが取りやすかったり、温かい目で見ていただけたりとか、そういったことを小金井市ではすごく感じているんですけれども、いかにお互いがお互いを知り合う、目にしていこうかということで、こういうサポートが必要なんだとか、ちょっと声かけてみようかなとか、当事者も、それ以外の方たちも、とにかくお互いを目にする機会をいかに増やしていけるかという、その根っここのところが、インクルーシブな社会につながると私は考えているので、ぜひそういったことも視野に入れて、整備を進めていただけたらと思います。</p> <p>また、市でも、当事者、高齢の方、赤ちゃんを連れのお母さんたちも含めて、福祉面を話し合う機会があって、それが市に届けられるシステムができると、嬉しいなと思いました。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>大人が横になれるユニバーサルベッドについては、我々としてそこまでのことを、今後、進めていこうというところまではできていないというのが現状です。福祉的な観点から、おそらく今後も、特に介護をされる方が増えていくようなことが推定されておりますが、そういうことも含めて、そういった大人が横になれるベッドというのは考えないといけないと思っております。</p> <p>おっしゃるように、インクルーシブな社会というのをつくっていこうというのは、今はもう社会全体的な流れではありますので、生活面でどういうところに不備があって、不具合があって、じゃあ、外出したくてもできない状況があるというのは、今、おっしゃっていただいたことも含めて、しっかり分析した上で、取れるところから対策をしっかりと取っていききたいと思います。</p>
		<p>私、4週間ぐらい車椅子の生活を余儀なくされた時がありました。たった4週間ですが、妻にちょっとわがママを申しまして、家の近所を車椅子で1時間ぐらい散歩をしたんです。連雀通りは、車椅子じゃなくても危険で、普通に歩いているだけでも、自転車や車で運転していても怖いところ。そこを車椅子でということで、本当にやっぱり、ここは何かしなくてはならないと痛感しました。あとは、武蔵小金井駅北側の吉野家さんから牛角さんぐらいまでは良いんだけど、そこからちょっと行った歩道がたがたで、車椅子が通れないんです。</p> <p>ここはやっぱり市長の在任中に、何かちょっと工夫してほしいなということなんですけど。</p>	<p>分かりました。併せて御意見としていただきます。私も一度、車椅子で1日過ごしてみるということも必要かもしれません。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
5	EMについて	<p>私は現在86歳ですが、29歳から33歳にかけて、薬害で腸から出血して入退院を繰り返し、最終的には大腸以下全部切除して、人工肛門ですとやってきています。</p> <p>15年ぐらい前に、市の健康診断の心電図で引っ掛かり、足の血管を移植する手術をしています。その少し前に、EM（有用微生物群）を知る機会があって、それ以来、私と家内は、毎朝、紅茶に大さじ1杯入れて飲んでいますが、それ以来、手術後は病気をしなくなり、今も元気です。</p> <p>そういう意味で、EMに関してはかなり興味を持っていて、増殖したEM活性液を誰もが使えるような形で、市民に提供して、家庭生活から、野菜づくりから、いろんなところで使ってもらえると良いんじゃないかなと。ぜひ検討していただけたらと思っています。もうずっと市に情報を提供し続けているんですけど、前の市長の頃から動きがなくて。</p>	<p>私自身がEMについて専門的知識を持ち合わせておりませんので…。環境部の環境政策課というところが、環境に関する色々な情報を持っていると思いますので、そこで何か活動したいとか、こういう情報があるんだというのを、もしよろしければ、提供いただければと思います。こちらでもこういう御意見があるということは共有しておきます。</p>
6	新庁舎・（仮称）新福祉会館建設について	<p>先日、スーパーの前で市議の方が署名活動を行っていました。新庁舎の建設に関わる署名活動だったんですけど、その市議の方に聞いたら、面積を小さくするとか、そういう話で、まだこれは決定事項じゃないからという言い方をされていました。</p> <p>想定スケジュールというのがありますが、実際、今の状況はどうなっているのでしょうか。市議の方は、議会にはまだ通っていないというようなことも、ちらっと言っていました。</p> <p>庁舎問題について、何点かお伺いと、意見を申し述べます。令和3年の2月18日に庁舎特別委員会の総括意見として、白井さんがお話をされたことについてです。「大胆なコストダウンが実現できると主張されている、いわゆる市民案という設計概要、アイデアが市民団体から提示されているが、様々な市民参加のプロセスを踏まえ、基本設計、実施設計まで進んできたこの段階において、粒度の違うアイデアレベルの特定の意見のみを、現在進めている実施設計と比較、検討する材料にできないことは、行政判断としては当然と言える」というふうに述べられています。少し後段のほうで、「市民生活を守り、市民サービスを向上させつつ、複合庁舎建設が進められていることを明確に示していただきたい。そのためには、我が会派が以前から提案しているように、抜本的な事業の見直し」…というふうにおっしゃっています。そういった云々を「早期検討するよう、切に要望する」と。当時のことを覚えていないというのと、もう仕方がないんですけど、この「抜本的な事業の見直し」とは、どういった具体的なことをイメージして、この議会でお話しされていたのを確認させてください。</p>	<p>昨年10月に設計を再開いたしまして、この実施設計も、この10月には終わる予定となっています。その後、施工者選考に入り、来年の7月から工事に入ると。結果的には、今から約4年後、供用開始、移転。こういうスケジュールになっています。実施設計を再開するというのは、議会の議決もいただいて、補正予算を可決もいただいて進めております。ですので、それは我々の決定として進めているところです。</p> <p>「議会を通過していない」というお話は、「何が議会を通過していない」とおっしゃったのか、それによって違いますが、繰り返しになりますが、もう設計の予算は、議会でも可決をいただいて、御理解をいただいて進めて、このスケジュールで進めていくということでございます。</p> <p>令和3年の議事録を紐解いて引用された件については、私は当時、この事業そのものを抜本的に見直せと言ったつもりはないので、どうしてそういう議事録になっているのか、よく分かりません。</p>

件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
	<p>白井さんの話の後半で、「最後に、これだけ大きな事業でありながら、市民の多くの方に、この事業の意義と概要がうまく伝わっていないと感じている。2年ほど前に議会の別な場でも提案したが、複合庁舎にする大義とその成果を市民にとって分かりやすく見える化すること、具体的に言えば、特設ウェブサイトを作成し、この事業によって、小金井市がどう変わっていくのかを丁寧に説明するなどの取組が必要だったと感じている。これが不十分だからこそ、市民にとって複合庁舎建設とは単に職員の働く場所として認識するにすぎず、大きなお金をかけていることの賛同を得づらい空気をつくってしまったのではないか。この点、今からでもできることは考え、取り組んでいただきたいと願うばかりである」と、コメントされています。これ、本当そうだなと思っております。一昨年に市長になられたわけですけども、そのとき言ったことを、何をやってきましたかとは問いませんが。</p>	<p>市民への周知についてはおっしゃるとおりで、議会でも重ねて御指摘もいただいているところですが、私もおかしいから、もう少し分かりやすい情報提供の在り方であるべきじゃないかと、議員のときに申し上げていたことは、心としては変わらないですけど、それが十分まできてないという御指摘もいただいております。改めて、今、庁内で、市報であったり、ホームページであったり、市民の皆さんに、この庁舎建設と福祉会館の建設事業が、どういう進捗になっているかというのを分かりやすくお伝えする手法について、具体的に検討しているところでもあります。</p>
	<p>先ほども署名運動の話がありましたが、これは地方自治法が定める住民直接請求のための活動の一環です。ある議員の方も議会で、単なる署名とは違って、この日本において、住民自治の意思表示をする一番権威があるものだと言っていました。</p> <p>今、議会の多数である15人は、現行案をそのまま進めるべしと、市長と同じ意見です。私たちと7人の議員は、そうではなく、見直さなければいけないんだという意見です。この前、SOCOLAの前で署名活動をしていた時に、3人の市民の方が私のところに来て、市長がやろうとすることを止めるなどおっしゃったので、1つずつ説明をしたところ、結局3名全員、署名をしてくださったんです。私が市長に言いたいのは、小金井市を財政的にも支えているのは、24人の議員ではなく、彼らも含めた12万人の方だということです。1世帯当たり19万円以上の費用負担をすることを、市民に説明されていますか。私が伝えたいことは、小金井市として、この事業を市報等で発信してほしいということです。</p> <p>住民投票の結果が示されたときに、市長は意見を付して議会に提示すると思うんですけども、現行案か、市民が進めようとする見直し案か、図るべきだという意見をつけて、議会に提示してほしいんです。</p>	<p>小金井市を支えているのは、24人の議員ではないということをおっしゃいました。言葉としては、そうかもしれません。実態としては、市民の皆さんが納めていただいている税金を基に、我々は市政運営をやっておりますので。</p> <p>ただ、市議会議員というのは、市民の皆さんから選挙で選ばれた、いわゆる代議、代表者であり、市議会の決定というのは、このまちの決定なんです。それだけは誤解のないようお願いいたします。</p> <p>住民投票の条例を制定するための直接請求、署名活動というのが行われていることは、私も承知をしておりますが、仮に住民投票条例が成立したときに、議会に、私がその条例を出して提案するということになります。そのときに、「意見を付す件についてはこのようにしたらどうか」という御意見をいただいておりますが、ここであまり私のほうから具体的に申し上げるのもどうかと思いますので、まずは、〇〇さんの御意見として受け止めさせていただきます。</p> <p>ただ、先ほど御質問された方に申し上げましたように、この事業は、もう議会にも御理解をいただいて、この間、進めてきたところなんです。歴史的経過からすると、もう30年以上掛かって、この新庁舎建設というのは、小金井市で問題となってきたわけです。本庁舎はもう、築60年以上も経って老朽化して、配管を含めて、本当にどうにか手を入れられないといけない。4階建てなのににもかかわらず、エレベーターがなく、バリアフリーと程遠いという状況です。働く環境としては、本当にもう最低な状況ですよ。もし設計を見直すということになれば、結局、本庁舎もそろそろ手を入れられないといけない、まづい状況になりますので、そういうお金の掛け方が、果たして良いのかどうか、ということですよ。</p> <p>第二庁舎はリース庁舎と言われていますが、いわゆる賃貸庁舎です。お金を払っても自分のものにはなりませんから、ずっと賃貸としてお金を払い続けることになります。これがもう二十数年続いてきたわけです。それで、市民と議会の皆さんの思いとして、早く解消しようよ。</p> <p>例えば、災害発生時の対応や、そもそもの市民サービスの向上に向けて、しっかりとした統合庁舎をつくるという新庁舎・福祉会館の建設事業というのを計画して、市民の皆さんに、いろんなプロセスを踏まえて、市民参加もしていただきながら、つくり上げてきたわけです。大変申し訳ないんですけど、説明会でも何度も同じやり取りを繰り返しておりますが、この事業はこの事業として、早くこの内容でやるということが、今、小金井市のこれからのために重要なことだと私は考えておりますので、〇〇さんの御意見、御活動は尊重はいたしますが、私はその立場には立っておりません。</p>
	<p>先ほどの方のご意見、よく分かります。ただ、この意見が正しいとしても、私たちがこうやってお話ししている間でも、毎月賃貸のお金が見失われているわけで、もうそれはやっぱり耐えられない。</p> <p>今、やっとなら進もうとしている中、じゃあ、それをあえてひっくり返すエネルギーと時間考えると、私は100点満点じゃないけど、今の流れに従うしかないなというのが正直な感想です。毎日毎日、大事な血税をただ失われているというのは、本当にもう、小金井市民として耐えられないというのが実感です。</p>	<p>庁舎建設の件については、御意見ということでしたが、おっしゃっていただいたように、仮に設計をやり直すという話になると、それはもう設計者を選定するところから改めて考え直す必要がありますので、設計に入るまでに何年かかるのかということをお考えざるを得ず、スケジュールは完全に破綻します。今言われているのは、昨日、新聞に書いてありましたように、時期が遅れば遅くなるほど、建築費が上がっていく一方だということも、これから考えられるということです。特に、人材確保がすごく難しくなっているという話がありますので、時期が遅れば遅くなるほど、もう建設には不利だということも圧倒的に言われています。そういうことも踏まえて、我々としては、しっかりと粛々と進めていきたいと考えております。</p>

件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
	<p>新庁舎の件について、移転をする背景を知りたいです。今の庁舎はもう古いので移転するという背景だと解釈しているんですけども。</p> <p>また、新規の施設をつくった後に、今、複合施設として、子ども家庭センターや福祉総合相談窓口みたいなのも含めて建てるということなんですが、こちらの運営について、全部市役所として使っていくことでリターンがきちんと得られるのか、もしかしたら空いている場所を市民にこういう要望で貸し出すとかあるのか、そういう運営等も含めて、どういうリターンを考えているのか。もし今の段階で何かあれば教えていただきたいなと思います。</p>	<p>市長からの回答等</p> <p>新庁舎及び新福祉会館建設事業について、それをやる背景そのものと、実際にこれができたときに、市民にとってどういう良いことがあるのか、ということですかね。</p> <p>背景としては、もう本当に長い話になります。新庁舎は30年前から、新庁舎建設の議論が、市議会を含めてなされておりました。蛇の目跡地という、本町のオーケスタアの北側にある、今、暫定広場となっている所なんですけれど、15年ぐらい前に、そこを建設予定地にするかどうかも含めて1万人アンケートを行って、ここに建てるということになりました。</p> <p>じゃあ、何でもとも新庁舎が必要なのかという話をします。今、庁舎は大きく、本庁舎と第二庁舎の2棟あって、本庁舎というのは、もう現段階において、築60年位で、4階建てにもかかわらず、エレベーターがありません。老朽化が著しく、配管が本当にもう腐食している。新庁舎を建設するというのは、何十年も前から計画があったので、ここはいずれ、もう無くなるものだという前提で、しっかり管理ができていなかったという背景もあります。ただ、やはり60年経っての著しい老朽化はあります。</p> <p>具体的に言いますと、私のいる市長室も、本庁舎という古い庁舎の方の2階にあるんですけど、先月、男子トイレの小便器が3基あるのが、3基とも使えなくなりました。今は2基が使えますが、また来週、工事などで使えない期間があります。2年前には、1階の男子トイレの天井が落ちてきたこともありましたが、今はもう、配管の方はまずいので、最低限、やれることはやろうというところなんです。トイレの臭いはもうフロアにまで届いていて、夏場は充満しています。衛生環境としては、本当によろしくない状況です。</p> <p>本庁舎はそれぐらい古いということに加えて、耐震診断をしましたが、庁舎としての耐震性能・基準を満たしていないのです。大規模な地震が来たときに、最初は大丈夫かもしれないんですが、熊本もしくは能登みたくに、何度も大きな地震が来たときには、本庁舎はもう機能しなくなります。ですので、災害対策を取るためにも移転を。要するに、本庁舎じゃない庁舎をしっかり持つ必要があるということです。</p> <p>第二庁舎というのは、賃貸なんです。毎年、駐車場代も入れるとその賃貸料だけで、確か2億6、7千万円を毎年支払い続けて、早30年近くです。さっきの方がおっしゃったように、1日当たり何十万円というお金がどんどん出ていっている状態です。ただ、これは借りて使っているわけだから、そのお金自身が無駄とは言いません。ただし、賃貸庁舎として、これだけやっているというのは、非常にリスクが高いということと、そのお金を払い続けても、何も起こらないという状況ですので、やはり本庁舎と併せて統合庁舎を持つべきだということですね。</p> <p>新庁舎建設は、もう何十年前からずっとやろう、やろうと言っているが、ずっとできなかったんです。できなかった背景は、新庁舎を建てるお金がなかったということです。ようやく基金も積んで、結果的には、当然、大分借金することにはなるんですけど、それは長期間にわたって、市民もその便益を受けるという観点から、そういうお金を借りること自体は別に悪いことではないとは思っているんです。要するに、建設する背景というのは、そういうことです。</p> <p>あと、新庁舎が出来たことによって、どういう良いことがあるのかですが、福祉会館という施設が併設されます。もともと福祉会館という建物はあったんですが、平成27年から28年に使用停止にしました。それも、実は耐震診断をやった結果、非常に危ない状況だということが分かりましたので、先に閉館したんですね。その機能も、ここに復帰されるということと、あと、保健センターと子ども家庭センターというのが、貫井北町の東京学芸大学の近くにありますが、こちらにも入ります。小さなお子さんがいらっしゃる方は分かるんですけど、健診というのは、3から4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診と、いろいろあるんですけど、国分寺との市境のところにある保健センターに行くので、非常に不便だったんです。この保健センターの機能も、市の真ん中の、この福祉会館の中に入ります。ですので、大体、蛇の目シン工場跡地というのは、小金井市域で見ると、ちょうど真ん中ぐらいにありますので、市の中央部に、こういった福祉のまちづくりの拠点ができるということになるんですね。</p> <p>あとは、活動スペースもあります。市民がここで、何か勉強会をやりたいとか、こういう活動をやりたいとかいうときには、借りられるスペースなんかも幾つか用意していますので、貸館機能もあるということです。更には、市民協働を進めていこうということを言っていますので、この運営そのものも含めて、市民がいろいろ参画できるような仕掛けというのを、これから考えていきたいと思っています。</p> <p>第二庁舎は土地も借りていますので、返すことになるんですけど、本庁舎の建物、もしくは、保健センターの跡地をどう活用するかということと、我々は今、考え始めています。そこに、新しい市民サービスの機能を何か入れるかということを考えることになります。今、本庁舎の跡地をどう活用しようか等、まだ具体的なことは何も決まっていませんが、今後、検討していくことになります。ですので、新庁舎ができることによって、さっき言った、ここの機能としてのメリットと、あとは、跡地が生まれることによって、新しいまちづくりの種ができるということ。そういうことも含めて、考えることは沢山あるんですけども、市民にとっても、色々提供できるような便益というのは多いかなと思っているところです。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
7	タウンミーティングと 庁議での共有について	<p>「タウンミーティングでお聞きした御意見、御提案の取扱い」についてですが、「直近の庁議にて共有」というふうに書いてあります。この庁議というのは、部長なのか、課長なのか、どの課が出るものなのですか。「共有する」といっても、出ただけで、誰もそれに反応しないとかでは困るので、例えば内容によっては、市長の方から部長に対して、このことはそこでやってくれと言ってほしいということです。共有というだけじゃ分からないので、そこをはっきりしてほしいなど。</p> <p>そういうことだとしたら、「庁議で具体的な部長に対して、こういうことを言った」ということを教えてほしいんです。市長としては、ちゃんとそういうところに話しているのか、ただ共有だけして、みんなに見せただけで終わりなのか。それとも、そうじゃなくて、部長に対して、「こういうことはこういうふうにやってくれ」ということを言ったのかどうなのかということ、しっかり知りたいということです。具体的にそういうことまで市民に分かるようにしてほしいと思います。</p> <p>今回、話が出た中で、その後どうなったかが分かったら、皆さん安心するんじゃないかなと思いました。</p> <p>意見とかは特にはないのですが、多分、皆さんが考えていることは、両極ではない気がします。良くしたくて、一生懸命意見を出しているから、在り方もどんどん変わっていく。これからの、未来の目的に向かって、今、私たちが何をすべきかということに立ってお話をする会を、これからも続けていただけたら嬉しいです。</p>	<p>庁議というのは、全部長が出席する会議です。一部、企画財政部の課長も脇におります。共有というのは、全部長に、直近のタウンミーティングではこういう御意見や御提案があったよと伝えることです。私はすぐさま共有すべきだと思っているので、まず、共有はしているということです。</p> <p>併せて、緊急を要するものや重要なものについては、個別に直接、担当と私がやり取りをしているケースがあります。場合によっては、部長に相談した上で、課長に下ろして、例えば、その課で対応を検討するとか、調べてみてよとか、これはもう先々でいいから考えておいてね、とか。その案件の重要・緊急度に応じて…これはもう、私の方で判断という形になってしまうんですけども、そういう形にしております。庁議で共有というのはあくまで、自分の部のものではないものの、いわゆる経営ボードですから、「全部長で全部共有するというもの」と捉えていただければと思います。</p> <p>庁議の場では、そこまではやっていないです。正式に議題として上げているわけではなく、その他の報告事項みたいな扱いのところ、私の方から共有をしているという段階です。</p> <p>要するに、プロセスをもっと明確にほしいということですよ。今後検討したいとは思っておりますので、その中でこういったことをどう仕組み化していくかというのを、なお検討はしたいと思います。</p> <p>毎回のように言われていますが、そこまでのプロセスをまだ明確にできていません。今、お見せしている資料も、今回初めてお見せしているんですね。どちらかという、その場で答えたりとか、「ちょっと考えておきますね」、「調査しておきますね」と言ったきり、フィードバックする機会がなかったんです。まずは一旦、お聞きした内容について、こう対応していますというのを図式化したものの、例えばそのプロセスが全て見える化できてないというのは、私としてはどうにかしたいとは思っているんですけども、それを全て当てはめていくには、それこそプロセスが必要だったりもするので、まずは今できるところからお聞きをし、対応できることから対応するというをやっているという状況です。ただ、進捗を分かりやすくするとか、そういったことはあったほうが良いとは思っていますので、なお時間をいただければと思います。</p> <p>このタウンミーティングは毎月やっています。今日は対面ですけど、タウンミーティングを始めた当時は、まだコロナの影響があったこともあって、対面、オンラインと交互でやっていたんです。今年は担当職員の負担は増えるんですが、対面、対面、オンラインというふうには、ちょっと対面の機会を増やそうと考えています。</p> <p>次回は6月にマロンホールでやるんですけど、これまで対面は毎回、この萌え木ホールだったんです。地域の集会施設でもやることによって、地域課題のお話を聞かせていただくことにもなるのかなと思いますし、萌え木ホールでやるときには、場合によってはテーマを決めてやるのかとか。そうすると、そのテーマによって集まっていた方から、深い御意見も、もしかしたら聞くことができるんじゃないかと。色々試行錯誤しながら、やっていきたいと思っています。</p>

	件名	ご意見・ご要望等	市長からの回答等
8	公設公営の学童について	<p>学童の問題についてです。理想論を言ったら、やっぱり公的な学童が整備されて、そこで賄えるならいいんですけど、ただ、小金井で市長さんはじめ、皆さんが頑張ってる、小金井は良いところだなと、先ほどの方みたいに他の区からもいっちゃれば、当然、人口も増え、学童も増えていく。民間の力を入れて、新しい考え方とか、ある意味では競争原理が働いて、良いほうに行けばいいんですけど、経済的な面を考えると、やはり負担がかかる方が増えてきます。できれば、繰り返しになりますけど、色々大変なのは分かるのですが、ぜひ市長に、公的な学童で賄えるよう、少しでも近づけてほしいなど。カンフル剤的な意味で、民間の力を借りて、相乗作用で良くしていくということは分かるんですけども。</p>	<p>学童については、おっしゃっていただいたとおり、本当は公設公営で、しっかり市として設けるべきではあるんですが、ただ、やはりなかなか、市だけでは無理なところもございますので、やはり民間の力も借りながらと思っています。</p> <p>今後、例えば、学校を建て替える等のフェーズに入っていきます。順番にはなりますが、そこにやはり学童や、地域の人たちが活動できるような場所も含めて、公的にうまく活用できるようにできないのか。こういうことも中長期的には考えておりますので、そういうふうにお伝えをしておきます。</p>
9	保育園の在り方について	<p>保育園についてですが、今からどんどん減らしていく方向だということは、もう決まったことですし、あれこれと言う気はないんです。けれども、小さな認可保育園が、こんな狭いところでどんどん増えていって、園庭もないところで、かわいそうだなという保育園もたくさんできていることは事実です。だから、待機児童がなくなること、イコール、こういう保育事業がゴールじゃなくて、むしろ待機児童がなくなったことがスタート地点だと思っています。そこから、そういった1つ1つの保育園の環境の検証とかが必要かなと。</p> <p>市の保育園も、いろんな建て替えの問題とか、人件費のこと等あるかもしれませんが、そういったところでしかできないような幼児教育もあると思うので、それはそれで大切に。小金井は、こういった公的な保育園で、こういうすばらしいことをやっているんだということをアピールするチャンスだと思うのです。残す以上は、より良いものにしてほしいなどというのが実感なんです。</p>	<p>保育園については、いろいろ言いたいことはあるんですが、喋ると、もう30分ぐらい喋っちゃうので。公立保育園はどういう役割を果たすかということ、改めてしっかり考える、定義するべきだと思っていて、そのために、この在り方検討委員会を立ち上げたんです。それがそのまま減らそうという話になって、専決処分があって、今に至る、というのが、私としては非常に納得がいかないんで、今回、議会で議決をいただいて、この在り方検討委員会を設置することができました。しっかりと公立保育園の役割、在り方を定義して、その中で民間保育園との連携を取って、市全体の保育の質を高めていくためにどうあるべきで、じゃあ最低何園必要で、どういふふうに関能を持ってやるべきなのか。ここをしっかりと皆さんに説明できるよう、改めて整理していきたいと思っています。</p> <p>いずれにしても、子どもたちが過ごす場所が最良の場所になるように、私としては、公立保育園だけじゃなくて、民間の保育園ともうまく連携しながら、市全体の保育の質を維持・向上できる仕組みづくりというのを考えて、しっかり取り組んでいきたいと思っています。</p>